

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター 2019 年通常総会

総会次第

開催日時：2019/10/20, 13:00-14:20

開催場所：かでの 2.7 北海道立道民活動センター (札幌市中央区北 2 条西 7 丁目) 1010 室

開会 理事長挨拶

議長ならびに議事録署名人の選出

議事

第 1 号議案：2018 年度事業報告および決算

第 2 号議案：特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター定款の改正

第 3 号議案：2019 年度事業計画および予算

第 4 号議案：2019 年度役員選任

報告

1. 理事会開催の報告

2. 会員動向

閉会

出席通告者 (正会員)：在田一則, 前田仁一郎, 松田義章, 宮下純夫, 中川 充, 岡 孝雄, 岡村 聡, 嵯峨山 積, 関根達夫, 高波鐵夫, 山岸宏光 <11 名>

出席通告者 (賛助会員)：吉岡正俊 <1 名>

委任状提出正会員：加藤孝幸 (議長委任), 川村信人 (理事長委任), 君波和雄 (議長委任), 宮坂省吾 (議長委任), 柳下文夫 (議長委任), 山崎芳樹 (議長委任) <6 名>

○ 特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターの 2018 年度は 2018 年 10 月 1 日から 2019 年 9 月 30 日までである。

○ 総会開催日における会員数は以下の通りである。正会員 19, 一般会員 6, 院生・学生会員 1, 賛助会員 1. 全会員数 27 である。

○ 定款第 26 条により, 総会開会の定足数 (正会員 19 名の 1/2 以上) は 10 名である。

○ 定款第 27 条により, 総会の議決は出席正会員の過半数である。

○ 定款第 28 条により, あらかじめ通知された事項について書面もしくは電子メールをもって表決または他の正会員を代理人として表決を委任することができ, そのようにした正会員は総会に出席したものとみなされる。

○ 定款第 49 条により, 定款の変更には, 総会に出席した正会員の 4 分の 3 以上の多数による議決を必要とする。

○ 2018 年度役員等一覧 (2019/9/30 現在)

理事長：前田仁一郎。副理事長：嵯峨山 積。理事：石崎俊一, 川村信人, 君波和雄, 前田仁一郎, 松田義章, 宮坂省吾, 宮下純夫, 中川 充, 岡 孝雄, 岡村 聡, 嵯峨山 積, 関根達夫, 高波鐵夫, 山岸宏光。監事：在田一則, 加藤孝幸。幹事 (内規に基づき, 理事長の指名により, 正・副理事長とともに幹事会を構成)：宮下純夫, 岡村聡, 関根達夫, 高波鐵夫, 柳下文夫。総合地質編集委員会：君波和雄 (委員長), 宮下純夫 (副委員長), 松田義章, 岡 孝雄, 岡村 聡, 柳下文夫。

議事

第 1 号議案：2018 年度事業報告および決算

1-A：2018 年度事業報告

1. 学術雑誌「総合地質」の発行

「総合地質」2 巻 1 号を 2018/10/25 に、3 巻 1 号を 2019/9/20 に発行。また「総合地質」の確実な永久保存を目的に、3 巻 1 号からこれまでのオンライン版 (ISSN 2433-7161) に加えてプリント版を発行することにし、国立国会図書館 (ISSN 日本センター) より ISSN 2435-2187 を取得。なお、遡及的に 1 巻 1 号、2 巻 1 号についてもプリント版を作成し、あわせて国会図書館、産業技術総合研究所地質調査総合センター、北海道立図書館、道立地質研究所に納本・寄贈する予定。また「総合地質」の今後のあり方を検討するための総合地質編集会議を 2019/1/19 に開催し、会員外からの投稿者および査読者の獲得が必須であることを共通の認識とした。日本地質学会学術大会 (山口大学) における小集会「人生 100 年時代のシニア地質屋の集い：NPO 法人設立の呼びかけ」の開催 <2019/9/24> もその延長線上にある。

2. 研究セミナー・論文輪読会の開催

研究セミナー (第 10 回, 2018/1/19, 講演：君波和雄; 第 11 回, 2019/3/8, 講演：中西 諒; 第 12 回, 2018/5/9, 講演：関根達夫) と 第 1 回論文輪読会 (2019/6/30, 発表：高波鐵夫) を開催。出席者合計：60 名 (会員以外 8 名を含む)。なお、研究セミナーは全会員の参加を想定した研究・討論の場であり、一方、論文輪読会は特定のテーマについて関心を持つ会員有志による専門性の高い研究・討論の場という位置付けであり、ともに外部に対して公開。

3. 市民対象・専門家対象の (公開) 講座実施に関する短期・中期的見通しの検討

札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) 交付決定 (事業名は「札幌市とその周辺の地質に関する市民向け公開講座の実施事業」) を受け、2019/8/3 に「今後の公開講座事業に関する検討会議」を開催。札幌市助成金の交付をもとに、可能な限りの有償化を進めながら公開講座事業を重要な事業として継続して行くことを確認。役務等の有償化は公開講座実施の人的体制の構築のためにも必要不可欠と認識。

4. 市民向け公開講座の開催

第 3 回公開講座 <2019/02/23>：宮下純夫, 海と陸の本当の違い -砂漠の国オマーンで見る海底下 40 km の岩石の世界-, 第 4 回公開講座 <2019/06/08>：関根達夫・岡村 聡, 4 万年前, 札幌を埋め尽くした支笏火砕流 -札幌軟石は支笏火山の置き土産-, 第 5 回公開講座 <2019/07/06, 07/13>：嵯峨山 積, 小さな化石 (珪藻) から石狩平野の生い立ちを知る- 縄文海進の世界-. <都合 5 回, 参加者総数 130 名, 1 回平均 32.5 名> を開催。参加者アンケートは概ね高評価である。決算と最近のアンケート結果については別紙参照。

第 4 回と第 5 回は、次年度開催の第 6 回 <2019/10/12, 10/27>, 第 7 回 <2019/11/02>, 第 8 回 <2019/12/07> とともに札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) 交付事業を構成するものであり、役務等の一部有償化 <最終的な収支に依存> を行う予定 <2019 年度において実施>。

5. 専門家対象の (公開) 講座の企画・実施

一般社団法人北海道地質調査業協会との協議の進展無し。今後も継続的に追求。

6. 自治体等へのアウトリーチ活動

中川町「平成 30 年度中川町自然誌講演会」実施委託事業 (2018/11/1 実施) を実施。HRCG としては最初の自治体対象アウトリーチ事業。決算については別紙参照。

7. HRCG の社会的認知度向上のための活動

リーフレット <2019/04/11> および公式名刺 <2019/04/11> を作成し、利用を開始。

8. リアルなオフィス開設への準備

携帯電話の購入契約 <2018/10/19>, 札幌市市民活動サポートセンター事務ブースの利用開始 <2019/04/01>。リアルオフィス開設へ繋がるかどうかはともかく、ともに十分に機能している。

9. リアルな研究環境の整備・構築の具体化の検討・HRCG の今後の運営体制のあり方などの検討・ホームページコンテンツの充実

ともに前進方向ではあるが、今後の継続的課題

10. 2017 年度年報の作成

北海道総合地質学研究センター 2017 年度年報 (2019/05/20 付) を公開 <2019/05/29>

11. その他、有意義かつ実行可能な活動

・ 会員活動支援費の設置：会員の活動を支援するという意味で、公開講座参加費の 10% 補助を実施
・ 日本地質学会第 126 年学術大会 (山口大学) において集会「人生 100 年時代のシニア地質屋の集い：NPO 法人設立の呼びかけ」を開催。決算については別紙参照。

・ 札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) 交付決定 (事業名は札幌市とその周辺の地質に関する市民向け公開講座の実施事業、交付予定額 168,000 円)。HRCG として最初の助成金獲得 <実際の助成金受入は 2019 年度>

1-B：2018 年度決算

特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター2018 年度決算案と事業毎の収支報告を別紙に示す。

別紙：2018 年度決算 (案)、貸借対照表、財産目録、第 3 回公開講座決算、第 4 回公開講座決算、第 5 回公開講座決算、総合地質出版事業決算、北海道中川郡中川町開催「平成 30 年度中川町自然誌講演会」(2018 年 11月1日開催) 実施委託事業 決算、「人生100年時代のシニア地質屋の集い：NPO 法人設立の呼びかけ」開催決算、寄付・無償役務等提供者一覧、公開講座 第 4 回・第 5 回・第 6 回 (その 1) 参加者アンケート結果のまとめ

1-C：2018 年度監査報告

2019 年 10 月 13 日に監事 在田一則と加藤孝幸により監査が行われ、正・副理事長が同席した。監査報告を別紙に示す。

別紙：監事監査報告

第 2 号議案 特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター定款の改正

2-A：役員種別に専務理事を加える改正

該当箇所：第 12 条、第 13 条、および第 14 条

提案趣旨：当法人の業務執行能力の向上

正・副理事長以外に専務理事を置く。また将来的に役員報酬が具体化する際に、定款 第 18 条 (役員は、その総数の 3 分の 1 以下の範囲内で報酬を受けることができる。) によって全理事に報酬を支払うことができないので、定款上で報酬を伴う役員を明確にしておきたい。

----- <以下取り消し線部分が削除箇所、下線部部分が追加箇所>

第 4 章 役員及び職員

(種別及び定数)

第 12 条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 3 人以上
- (2) 監事 1 人以上

2 理事のうち、1人を理事長、1人以上を副理事長とするとし、また若干数を専務理事とすることができる。

(選任等)

第13条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び、副理事長及び専務理事は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることにはならない。

4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

2 理事長以外の理事は、法人の業務について、この法人を代表しない。

3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

4 専務理事は、理事長を補佐し、この法人の業務を執行する。

4-5 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

4-6 監事は、次に掲げる業務を行う。

(1) 理事の業務執行の状況を監査すること。

(2) この法人の財産の状況を監査すること。

(3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。

(4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。

(5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べ、若しくは理事会の招集を請求すること。

2-B：事業年度を 4月1日 から翌年 3月31日までとする改正

該当箇所：第47条、およびこの改正に伴う移行期間(2019年度)のために設ける附則7,8,9

提案趣旨：当法人の事業年度と自治体等の事業年度が大きく食い違っていることに起因する問題、例えば、自治体から助成金を得た事業の決算において発生する問題、を除去するため。

----- <以下取り消し線部分が削除箇所、下線部部分が追加箇所>

(事業年度)

第47条 この法人の事業年度は、毎年~~10月1日~~4月1日に始まり翌年~~9月30日~~3月31日に終わる。

附 則

5 この法人の設立当初の事業年度は、第47条の規定にかかわらず、成立の日から2016年9月30日までとする。

6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

(1) 正会員	入会金	0円	年会費	6,000円
(2) 一般会員	入会金	0円	年会費	5,000円
(3) 賛助会員	入会金	0円	年会費	1口2,000円 5口以上
(4) 院生・学生会員	入会金	0円	年会費	1,000円

7 この法人の2019年度の事業年度は、第47条の規定にかかわらず、2019年10月1日から2020年3月31日まで

でとする。

8 この法人 2019 年度の役員の任期は、第 15 条第 1 項の規定にかかわらず、2019 年 10 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までとする。

9 この法人の 2019 年度の入会金及び会費は、第 8 条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

(1) 正会員	入会金	0 円	年会費	3,000 円
(2) 一般会員	入会金	0 円	年会費	2,500 円
(3) 賛助会員	入会金	0 円	年会費	1 口 2,000 円 2.5 口以上
(4) 院生・学生会員	入会金	0 円	年会費	500 円

2-C：現定款から改正定款への移行期間について

今回の定款変更は札幌市の認証が必要であり、それに 3 箇月程度を要する見込みである。認証によって定款改正が発効するまでの期間は現定款が有効ではあるが、認証された段階で本総会時に遡って適用されるので、本総会では定款改正の発効を前提に 2019 年度事業計画および予算の審議・2019 年度役員選任などを行う。なお、本提案には、定款の文言・表現が所轄庁（札幌市）の助言によって変更される場合があることを含む。

第 3 号議案：2019 年度事業計画および予算

3-A：2019 年度事業計画

2019 年度は定款の改正（予定）に伴う事業年度変更の移行期に当たり、またその期間は 6 ヶ月（2019/10/1 から 2020/3/31）と短く、さらに出費を伴う事業に乏しい冬期間にあたるため、定常的な事業の継続が主なものとなる。実施を計画する事業等は以下の通りである。

1. 学術雑誌「総合地質」

既にオンライン版として発行済みの第 1 巻第 1 号と第 2 巻第 1 号のプリント版を作成し、国会図書館、産業技術総合研究所地質調査総合センター、北海道立図書館、道立地質研究所などに納本・寄贈する。また残部について希望者に実費で頒布する。

2. 研究セミナーと論文輪読会の開催

3. 市民対象・専門家対象の（公開）講座の実施と企画

公開講座第 6 回（2019/10/12, 10/27）、第 7 回（2019/11/2）、第 8 回（2019/12/7）の開催。また公開講座の実施体制の強化をはかり、特に総括責任者担当会員の充実のために報償の制度化を検討する。

4. 自治体等へのアウトリーチ活動の実施

5. 社会的認知度向上のための活動の実施

6. HRCG の今後のあり方の検討

運営体制、部門の再構成、役員報酬・役務有償化などの検討を継続的に行う

7. ホームページコンテンツの充実

8. 2018 年度年報の作成

9. 全国規模のシニア主体の組織体構築の模索

3-B：2018 年度予算案

上記 2019 年度事業計画に合わせ、別紙に示す予算案を提案する。

第 4 号議案：2019 年度役員選任

正会員の中から以下の役員選任を提案する。

理事 (14 名)：石崎俊一、川村信人、君波和雄、前田仁一郎 (理事長候補)、松田義章、宮下純夫 (専務理事候補)、中川 充、岡 孝雄、岡村 聡、嵯峨山 積 (副理事長候補)、関根達夫、高波鐵夫、山岸宏光、柳下文夫

監事 (2 名)：在田一則、加藤孝幸

報 告

1. 理事会開催の報告

今年度は電子メール表決による理事会を 3 回 開催した。「内規に関する申し合わせ」に基づき、総会に報告する。

2019/01/15-2019/01/24 開催理事会：「札幌市市民活動サポートセンター「事務ブース」の利用申請に関する事項」および「北海道総合地質学研究センター会員個人ウェブサイト使用規定制定に関する事項」を承認

2019/02/25-2019/03/06 開催理事会：「理事長から承認を求められた「総合地質」に関する「みなし内規」の改正に関する事項」を承認

2019/09/10-2019/09/20 開催理事会：「1 号議案 特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターロゴに関する内規の制定」、 「2 号議案 特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターのロゴを付けた名刺作成に関する内規の制定」、 「3 号議案 総合地質編集委員会副委員長の選出」を承認

2. 会員動向

前回の通常総会以降、一般会員 3 名の入会があり、現在の会員数は 正会員 19 名、一般会員 6 名、院生・学生会員 1 名、賛助会員 1 名の計 27 名である。なお、メールマガジン HRCG Newsletter 購読者 39 アドレス <内会員外購読者 12 名>。

以上

資 料

資料 1：北海道総合地質学研究センター設立目的および定款に定める活動・事業

特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターの設立目的は、定款第 3 条において「地質学に関する研究・教育・実務などの高度な創造的活動を行なおうとする者のために必要な環境を用意し、その支援を行うとともに成果の普及活動を行い、それによって純粋地質学から自然防災を含む応用的地質学など幅広い範囲におよぶ「総合地質学」の研究の推進、およびそれに基づく社会的貢献、特に一般市民の地質学に関する基礎知識の増進に貢献すること」と定められ、定款第 4 条において特定非営利活動として以下の 4 活動を行うとしている。

(1) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動、(2) 科学技術の振興を図る活動、(3) 社会教育の推進を図る活動、(4) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

また、定款第 5 条で定められている事業は以下の 9 事業である。

① 会員の研究を支援する活動、② 会員の研究成果の発表・出版を支援する活動、③ 会員の地質学に関する専門知識の普及活動、④ 本法人としての研究・調査活動、⑤ 本法人の研究・調査活動成果の発表・出版活動、⑥ 地質学に関する交流事業、⑦ 地質に関する書籍・物品・情報などの斡旋・販売事業、⑧ 地質に関するコンサルタント

事業, ⑨ その他目的を達成するために必要な事業

資料 2 : 2018 年度 (2018 年 10 月 1 日から 2019 年 9 月 30 日) の事業・活動記録

2018/10/01 : 2017 年度事業監査を実施
2018/10/13 : 2018 年通常総会を開催
2018/10/19 : 携帯電話を契約
2018/11/01 : 平成 30 年度中川町自然誌講演会実施委託事業として講師 2 名を派遣
2018/11/12 : 札幌市に事業報告書等を提出
2018/12/13 : 幹事会を開催
2019/01/10 : 幹事会を開催
2019/01/17 : 公開講座企画部門会議を開催
2019/01/19 : 総合地質編集会議を開催
2019/01/19 : 第 10 回研究セミナーを開催
2019/01/24 : 2019/01/15 からの理事会表決期間終了
2019/02/01 : 公開講座 (第 4 回, 第 5 回) の北海道教育委員会道民カレッジ連携講座指定を申請
2019/02/02 : 札幌市市民活動サポートセンター事務ブース利用を申請
2019/02/07 : 公開講座 (第 4 回, 第 5 回) の北海道教育委員会道民カレッジ連携講座指定の承認
2019/02/14 : 札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) の助成対象団体登録を申請
2019/02/14 : 札幌市市民活動サポートセンターのレターケース使用更新を申請
2019/02/14 : 幹事会を開催
2019/02/15 : 札幌市市民活動サポートセンター事務ブースの利用申請に係る選考面談
2019/02/18 : 札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) の助成対象団体登録の承認
2019/02/21 : さぼーとほっと助成金助成対象団体の市民まちづくり活動 PR コーナー利用に応募
2019/02/21 : 札幌市市民活動サポートセンター事務ブースの利用の承認
2019/02/23 : 第 3 回公開講座を開催
2019/03/06 : 2019/02/25 からの理事会表決期間終了
2019/03/07 : 札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) 助成を申請
2019/03/08 : 北海道公立大学法人札幌医科大学保健医療学部特別講師の委嘱を承認
2019/03/08 : 第 11 回研究セミナーを開催
2019/03/08 : 役員懇談会を開催
2019/03/14 : 幹事会を開催
2019/03/22 : 法人公式名刺作成に関する会議を開催
2019/03/25 : 公開講座 (第 4 回, 第 5 回) の名義後援を申請 (札幌市, 札幌市教育委員会, 一般社団法人北海道地質調査業協会, 北海道高等学校理科研究会). 後日承認
2019/04/01 : 札幌市市民活動サポートセンター事務ブースの利用を開始
2019/04/11 : 幹事会を開催
2019/04/11 : 広報用リーフレットの完成
2019/04/15 : 平成 31 年度法人道民税減免の申請, 平成 31 年度法人市民税減免を申請. 後日承認
2019/04/27 : 札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) の助成に係る公開プレゼンテーション
2019/05/09 : 幹事会を開催
2019/05/09 : 第 12 回研究セミナーを開催
2019/05/15 : 札幌市市民まちづくり活動促進基金 (さぼーとほっと助成金) 交付の決定. 事業名は「札幌市とその周辺の地質に関する市民向け公開講座の実施事業」

2019/05/27：公開講座企画部門会議を開催
2019/05/29：特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター 2017 年度年報 (2019/05/20 付) を公開
2019/06/08：第 4 回公開講座を開催
2019/06/13：幹事会を開催
2019/06/30：第 1 回論文輪読会を開催
2019/07/06：第 5 回公開講座 (その 1) を開催
2019/07/13：第 5 回公開講座 (その 2) を開催
2019/07/18：幹事会を開催
2019/08/02：公開講座 (第 6 回, 第 7 回, 第 8 回) の北海道教育委員会道民カレッジ連携講座指定を申請
2019/08/03：今後の公開講座事業に関する検討会議を開催
2019/08/03：学術雑誌「総合地質」プリント版発行検討会議を開催
2019/08/08：公開講座 (第 6 回, 第 7 回, 第 8 回) の名義後援を申請 (札幌市, 札幌市教育委員会, 一般社団法人北海道地質調査業協会, 北海道高等学校理科学研究会). 後日承認
2019/08/18：公開講座 (第 6 回, 第 7 回, 第 8 回) の北海道教育委員会道民カレッジ連携講座指定の承認
2019/09/03：学術雑誌「総合地質」のプリント版の ISSN 番号の発行申請および予定番号の発行
2019/09/03：さぼーとほっと助成金助成対象団体の市民まちづくり活動 PR コーナー利用に応募
2019/09/12：幹事会を開催
2019/09/20：2019/09/10 からの理事会表決期間終了
2019/09/20：学術雑誌「総合地質」第 3 巻第 1 号 (オンライン版・プリント版) を発行
2019/09/24：日本地質学会学術大会 (山口大学) において小集会「人生 100 年時代のシニア地質屋の集い：NPO 法人設立の呼びかけ」を開催
2019/10/10：幹事会を開催
2019/10/12：第 6 回公開講座 (その 1) を開催
2019/10/13：2018 年度事業監査を実施
2019/10/18：野外科学株式会社技術講演会に講師 1 名を派遣
2019/10/20：2019 年通常総会を開催

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター
2018年度決算(案)

2018年10月1日～2019年9月30日(単位:円)

収入		予算	決算	差額	備考
1. 経常収益					
1. 受取会費					
正会員受取会費	108,000	114,000	△ 6,000	6,000円×19名	
一般会員受取会費	20,000	27,500	△ 7,500	5,000円×5名, 2,500円×1名	
賛助会員受取会費	10,000	10,000	0	10,000円×1名	
院生・学生会員受取会費	1,000	1,000	0	1,000円×1名	
受取会費合計	139,000	152,500	△ 13,500		
2. 受取寄付金					
受取寄付金	46,500	108,900	△ 62,400	内訳別紙	
無償役務受入評価益	0	1,524,892	△ 1,524,892		
無償施設・機器等受入評価益	0	36,216	△ 36,216	内訳別紙(PC・プリンタ類一式、マイク類一式)	
受取寄付金合計	46,500	1,670,008	△ 1,623,508		
3. 受取助成金等					
受取助成金	0	0	0		
受取補助金	0	0	0		
受取助成金等合計	0	0	0		
4. 事業収益					
「総合地質」出版事業	0	1,500	△ 1,500	総合地質(第3巻第1号)1冊頒布	
研究セミナー開催事業	0	0	0		
公開講座開催事業	240,000	132,900	107,100	参加費および配付資料頒布(内訳別紙)	
アウトリーチ事業	0	150,580	△ 150,580	中川町「平成30年度中川町自然誌講演会」実施委託事業	
事業収益合計	240,000	284,980	△ 44,980		
5. その他収益					
受取利息	5	4	1	預金利息	
雑収益	0	5,105	△ 5,105	書籍頒布(3,000円), 懇親会ポイント還元(1,100円), 懇親会残金(800円), 郵送代実費受取(205円)	
その他収益合計	5	5,109	△ 5,104		
経常収益合計	425,505	2,112,597	△ 1,687,092		
支出					

科目	予算	決算	差額	備考
II. 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給与	0	0	0	計上せず = 職員を雇用せず
謝金	80,000	0	80,000	講義準備・資料作製準備必要経費に移行
無償役務等評価費用	0	204,757	△ 204,757	
人件費合計	80,000	204,757	△ 124,757	
(2) その他経費				
講義準備・資料作製準備必要経費	0	118,000	△ 118,000	中川町実施委託事業講演会、第3～5回公開講座
会場費	47,200	21,600	25,600	第4～8回公開講座 (5回分)
旅費・交通費	20,000	54,480	△ 34,480	中川町実施委託事業講師旅費及び宿泊費 (2名)
広報・宣伝費	20,000	0	20,000	
通信費	1,500	29,530	△ 28,030	第3～5回公開講座チラシ郵送代 (札幌圏高等学校等)
印刷・製本費	35,000	65,240	△ 30,240	27,080円 (第3～8回公開講座チラシ印刷)、5,760円 (公開講座配付資料印刷)、総合地質 (第3巻第1号) 印刷・製本 (32,400円)
事務用品費	1,000	0	1,000	
消耗品費	10,000	0	10,000	
支払等手数料	1,000	864	136	216円×4回 (チラシ印刷送金代)
事業雑経費	20,000	1,750	18,250	傷害保険 (第4回公開講座, 35名×50円)
事業予備費	36,805	0	36,805	
無償施設・機器等受入評価費用	0	0	0	
その他経費合計	192,505	291,464	△ 98,959	
事業費合計	272,505	496,221	△ 223,716	
2. 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	0	0	0	計上せず
給与	0	0	0	計上せず = 職員を雇用せず
謝金	50,000	0	50,000	事務作業補助、会計作業補助、ホームページ更新作業補助など
無償役務評価費用	0	1,320,135	△ 1,320,135	
人件費合計	50,000	1,320,135	△ 1,270,135	
(2) その他経費				
会議・会場費	10,000	15,720	△ 5,720	総会 (4,140円), 研究セミナー (3回分: 2,000円, 3,540円, 4,140円), 幹事会 (1回分: 1,900円)
旅費・交通費	20,000	28,520	△ 8,520	福岡-新千歳往復 (総合地質編集会議)
広報・宣伝費	20,000	0	20,000	
通信費	20,000	43,036	△ 23,036	サーバーレンタル (12,960円), ドメイン管理 (3,067), 携帯電話購入 (6,000円), 電話代 (18,274円), 切手 (2,735円)

印刷・製本費	10,000	17,200	△ 7,200	リーフレット印刷 (17,200円)
事務用品費	10,000	89,131	△ 79,131	用紙、封筒、プリンタ用インク、ラベルシート、領収書、クリアファイル、名刺用紙、文具類など
消耗品費	10,000	7,880	2,120	カート (3,260円)、収納箱 (2,818円)、L型ブック (992円)、雑巾・バケツ (378円) など
支払等手数料	1,000	216	784	リーフレット印刷費送金代
管理雑経費	1,000	60	940	総会会場電気代 (ちえりあ)
管理予備費	10,000	71,300	△ 61,300	エルプラザブース使用料 (4月～10月分：10,000円/月、前月払い)、会員活動支援費 (第4回～第5回公開講座参加者、100円×13名)
無償施設・機器等受入評価費用	0	36,216	△ 36,216	内訳別紙 (PC・プリンタ類一式、マイク類一式)
その他経費合計	112,000	309,279	△ 197,279	
管理費合計	162,000	1,629,414	△ 1,467,414	
経常費用合計	434,505	2,125,635	△ 1,691,130	事業費合計 + 管理費合計

科目	予算	決算	差額	備考
当期経常増減額	△ 9,000	△ 13,038	△ 22,038	経常収益合計 - 経常費用合計

III. 経常外収益				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	

IV. 経常外費用				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	

科目	予算	決算	差額	備考
当期経常外増減額	0	0	0	

科目	予算	決算	差額	備考
税引前当期正味財産増減額	△ 9,000	△ 13,038	4,038	税引前当期正味財産増減額 = 当期経常増減額 + 当期経常外増減額
法人税	0	0	0	
法人道民税均等割	0	0	0	20,000円、免除申請予定のため計上せず
法人市民税均等割	0	0	0	50,000円、免除申請予定のため計上せず
前期繰越正味財産額	479,923	479,923	0	
次期繰越正味財産額	464,797	466,885	△ 2,088	次期繰越正味財産額 = 前期繰越正味財産額 479,923円 + 当期財産正味増減額 △ 13,038円 = 466,885円

*注 公開講座などの講義準備・資料作製準備必要経費は会員 12,000円、会員外 20,000円

貸借対照表

令和元年9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1.流動資産	
現金預金	466,885
流動資産合計	0
2.固定資産	
固定資産合計	466,885
資産合計	
II 負債の部	
1.流動負債	0
流動負債合計	0
2.固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	479,923
当期正味財産増減額	-13,038
正味財産合計	466,885
負債及び正味財産合計	466,885

財産目録

令和元年9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	0
現金（現金手許有高）	466,885
普通預金	
流動資産合計	466,885
2 固定資産	
固定資産合計	0
資産合計	466,885
II 負債の部	
1 流動負債	0
流動負債合計	0
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	
正味財産	466,885

監事監査報告

2019年10月13日

特定非営利活動法人
北海道総合地質学研究センター
理事長 前田 仁一郎 殿

特定非営利活動法人
北海道総合地質学研究センター

監事 在田 一則



監事 加藤 孝幸



私たちは、2018年10月1日から2019年9月30日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告します。

1 監査の概要

(1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について、理事から業務の内容を聴取し、必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2 監査の意見

(1) 貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく反映しているものと認める。

(2) 事業報告の内容は真実であると認める。

(3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター
2019年度予算案

2019年10月1日～2020年3月31日 (単位：円)

収入					
科目	予算	前年度実績	差額	備考	
I. 経常収益					
1. 受取会費					
正会員受取会費	57,000	114,000	△ 57,000	3,000円×19名 (事業年度変更の移行期に当たるので総会決議によって会費を減額している。以下同様)	
一般会員受取会費	15,000	27,500	△ 12,500	2500円×6名	
賛助会員受取会費	5,000	10,000	△ 5,000	5,000円×1名	
院生・学生会員受取会費	500	1,000	△ 500	500円×1名	
受取会費合計	77,500	152,500	△ 75,000		
2. 受取寄付金					
受取寄付金	20,000	108,900	△ 88,900		
無償役務受入評価益	0	0	0		
無償施設・機器等受入評価益	0	36,216	△ 36,216		
受取寄付金合計	20,000	145,116	△ 125,116		
3. 受取助成金等					
受取助成金	168,000	0	168,000	札幌市さぼーとほっと基金助成金 (「札幌市とその周辺の地質に関する市民向け公開講座の実施事業」)	
受取補助金	0	0	0		
受取助成金等合計	168,000	0	168,000		
4. 事業収益					
「総合地質」出版事業	12,000	1,500	10,500	総合地質プリント版頒布 (1,500円×8冊)	
研究セミナー開催事業	0	0	0		
公開講座開催事業	138,000	132,900	5,100	参加費 (第6回：80,000円 = 20,000円 + 60,000円, 第7回：28,000円, 第8回：28,000円), 配付資料頒布 (500円×4冊)	
アウトリーチ事業	0	150,580	150,580		
事業収益合計	150,000	284,980	△ 134,980		
5. その他収益					
受取利息	2	4	△ 2	預金利息	
雑収益	0	5,105	△ 5,105		
その他収益合計	2	5,109	△ 5,107		
経常収益合計	415,502	587,705	△ 172,203		
II. 経常費用					
支出					

科目	予算	前年度実績	差額	備考
1. 事業費				
(1) 人件費				
給与	0	0	0	計上せず
謝金	0	0	0	
無償役務評価費用	0	0	0	
人件費合計	0	0	0	
(2) その他経費				
講義準備・資料作成準備必要経費	48,000	118,000	118,000	第6～8回公開講座
会場費	0	21,600	△ 21,600	
旅費・交通費	0	54,480	△ 54,480	
広報・宣伝費	5,000	0	5,000	
通信費	1,000	29,530	△ 28,530	郵送料
印刷・製本費	73,000	32,840	40,160	総合地質 第1巻第1号, 第2巻第1号) 印刷・製本 (66,000円), 第8回公開講座資料印刷代 (7,000円)
事務用品費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	用紙代, プリンターインク代
支払手数料	300	864	△ 564	送金手数料
事業雑経費	34,150	1,750	32,400	傷言保険加入経費 (23名×50円 = 1,150円), 第6回公開講座バス値上げ費 (33,000円)
事業予備費	5,000	0	5,000	
無償施設・機器等受入評価費用	0	0	0	
その他経費合計	166,450	259,064	△ 92,614	
事業費合計	166,450	259,064	△ 92,614	
2. 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	0	0	0	計上せず
給与	0	0	0	計上せず
謝金	5,000	0	5,000	事務作業補助, 会計作業補助, ホーム更新作業補助など
無償役務評価費用	0	0	0	
人件費合計	5,000	0	5,000	
(2) その他経費				
事務所費	60,000	0	60,000	10,000円×6ヶ月 (2019年10月～2020年3月)
会議・会場費	10,000	15,720	△ 5,720	総会会場費, 研究セミナー会場費など
旅費・交通費	15,000	28,520	△ 13,520	幹事会交通費 (10,410円, 2019年4月～9月 片道相当経費) など
広報・宣伝費	5,000	0	5,000	名刺作成など
通信費	26,000	43,036	△ 17,036	サーバーレンタル更新費 (13,200円: 2019年11月1日～2020年10月31日), 郵送料, 携帯電話代 (1,800円/月) など

印刷・製本費	5,000	49,600	△ 44,600	
事務用品費	50,000	89,131	△ 39,131	紙、プリンタ用インク・トナー、文具など
消耗品費	10,000	7,880	2,120	
支払等手数料	500	216	284	
管理雑経費	1,000	60	940	
管理予備費	5,000	71,300	△ 66,300	会員活動支援費など
無償施設・機器等受入評価費用	0	36,216	△ 36,216	
その他経費合計	187,500	341,679	△ 154,179	
管理費合計	192,500	341,679	△ 149,179	
経常費用合計	358,950	600,743	△ 241,793	事業費合計 + 管理費合計

科目	予算	前年度実績	差額	備考
当期経常増減額	56,552	△ 13,038	69,590	経常収益合計 - 経常費用合計

III. 経常外収益				
科目	予算	前年度実績	差額	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	

IV. 経常外費用				
科目	予算	前年度実績	差額	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	

科目	予算	前年度実績	差額	備考
当期経常外増減額	0	0	0	

科目	予算	前年度実績	差額	備考
税引前当期正味財産増減額	56,552	△ 13,038	69,590	
法人税	0	0	0	課税なしを想定
法人道民税均等割	0	0	0	免除 (20,000円) を想定
法人市民税均等割	0	0	0	免除 (50,000円) を想定
前期繰越正味財産額	466,885	479,923	△ 13,038	
次期繰越正味財産額	523,437	466,885	56,552	

北海道総合地質学研究中心 第3回公開講座 (2019年2月23日開催) 決算

事業費区分収益 (収入)	内訳	収入額 (円)	補足説明
参加費	参加費 1,000 円 × 30 名	30,000	
	収入合計	30,000	
事業費区分費用 (支出)	内訳	支出額 (円)	補足説明
会場並びに会場設備利用費	かでの 2.7 550 会議室	4,720	会場使用費 3,700円, マイク使用費 360円, アンプ使用代 220円, 電気使用費 220円, スクリーン使用費 220円
チラシ印刷費	外部発注 2,000 枚	4,736	送料 216円を含む
講義資料等印刷経費	宮下担当	5,760	10円 × 576 枚
講義準備・資料作成準備必要経費	講義担当者の講義資料等の準備にかかる諸経費	12,000	
広報資料郵送費	札幌圏高等学校 50 校へのチラシ郵送経費	6,000	120 円 × 50 通
各種役務 <無償役務評価費用>	広報活動・会場サポート・講義準備資料作成など	31,730	38 時間相当, 北海道の最低賃金 835 円/時間で算出
	支出合計	64,946	
	収支 (円)	△ 34,946	

付記：支出の内の 31,730 円相当の役務は無償役務 (受取寄付金区分) として受け入れているので, 実収支は 3,216 円の赤字となる

無償役務受入評価益 (受取寄付金区分)

無償役務提供者	内容	金額 (円)	補足説明
前田仁一郎	チラシ配布・郵送, 総括責任等: 16 時間	13,360	近距離交通費を計上せず
嵯峨山 積	チラシ配布: 4 時間	3,340	近距離交通費を計上せず
柳下文夫	会場役務: 4 時間	3,340	近距離交通費を計上せず
高波 純夫	会場役務: 4 時間	3,340	近距離交通費を計上せず
宮下純夫	講義準備・資料作成, チラシ配布等: 10 時間	8,350	近距離交通費を計上せず
	合計	31,730	

北海道総合地質学研究会第4回公開講座(2019年6月8日開催)決算

事業費区分収益(収入)	内訳	収入(円)	補足説明
参加費	1,000円×33名, 500円×1名	33,500	1名は室内講座のみの出席
資料頒布	200円×2冊	400	配付資料を実費頒布
収入合計		33,900	
事業費区分費用(支出)	内訳	支出(円)	補足説明
会場費並びに会場設備利用費	石山振興会館	2,000	会場使用料 2,000円
チラシ印刷費	外部発注 2,000 枚	4,786	送料 216円を含む
講義資料印刷経費	A4版, カラー, 裏表印刷, 6枚/1冊	4,800	40冊作成, 20円×240枚
講義準備・資料作成準備必要経費	講義担当者の講義資料等の準備にかかる諸経費	12,000	講師2名分
広報資料郵送費	札幌圏高等学校 50 校へのチラシ郵送経費	7,000	140円×50通
保険掛金	傷害保険	1,750	50円×35名
各種役務<無償役務評価費用>	講義資料作製, 内容打合せ, チラシ配布等	73,898	88.5時間, 北海道の最低賃金 835 円/時間で算出
近距離交通費<無償役務評価費用>		21,702	
支出合計		127,936	
	収支(円)	△ 94,036	

付記：支出の内の 95,599 円相当の役務・近距離交通費は無償役務(受取寄付金区分)として受け入れているので,実収支は 1,563 円の黒字となる

付記：この第4回公開講座を含む5回の公開講座実施からなる当研究会の「札幌市とその周辺の地質に関する市民向け公開講座の実施事業」に対して,札幌市の「令和元年度札幌市市民まちづくり活動促進助成金」の交付(助成予定額 168,000 円)が決定している.事業終了後に助成金交付を得て,最終的な決算を行う予定である.その最終決算を経て収支残余金ができるものと期待され,その場合にはその残余金を「役務報償費」などとして各講座の役務提供者に支出する予定である.

無償役務受入評価益(受取寄付金区分)

無償役務提供者	内容	金額(円)	補足説明
関根達夫	講義準備・資料作成, チラシ配布等	24,498	近距離交通費 4,040.5 円を含む
岡村 聡	講義準備・資料作成, チラシ配布等	21,068	近距離交通費 8,960.5 円を含む
嵯峨山 積	総括責任, チラシ配布等	21,295	近距離交通費 3,760 円を含む
前田仁一郎	チラシ配布, 会場役務	17,293	近距離交通費 2,680.5 円を含む
柳下文夫	講義準備等	8,940	近距離交通費 2,260 円を含む
高波鐵夫	会場役務	835	
宮下純夫	チラシ配布	835	
松田義章	チラシ配布	835	
合計		95,599	

付記：第4回以降の公開講座は札幌市の助成金の対象となるので,近距離交通費を計上している

北海道総合地質学研究会第5回公開講座(2019年7月6日・7月13日開催)決算

事業区分収益(収入)	内訳	収入(円)	補足説明
参加費(7/6分)	1,000円×35名,500円×1名	35,500	高校生以下(小学生)1名を含む
参加費(7/13分)	1,000円×30名	30,000	
資料頒布(7/6分)	500円×2冊	1,000	配付資料を実費頒布
資料頒布(7/13分)	500円×5冊	2,500	配付資料を実費頒布
収入合計		69,000	
事業区分費用(支出)	内訳	支出(円)	補足説明
会場費並びに会場設備利用費	かでの2.7北海道立道民活動センター2回	7,080	2回分(会場使用費3,100円,電気使用費220円,スクリーン使用費220円)
チラシ印刷費	外部発注2,000枚	4,706	送料216円を含む
講義資料等印刷経費	A4版,カラー,裏表印刷,6枚/1冊	12,000	50冊作成,20円×300枚×2回
講義準備・資料作成準備必要経費	講義担当者の講義資料等の準備にかかる諸経費	24,000	講師1名×2回分
広報資料郵送費	札幌圏高等学校50校・日高山脈博物館へのチラシ郵送経費	7,380	140円×50通,380円(第一種定形外)
各種役員<無償役員評価費用>	広報活動・会場サポート・講義準備資料作成など	74,315	89時間,北海道の最低賃金835円/時間で算出
近距離交通費<無償役員評価費用>	各種役員の際に要した交通費	11,275	
支出合計		140,756	
	収支(円)	△71,756	

付記：支出の内の85,599円相当の役員・近距離交通費は無償役員(受取寄付金区分)として受け入れられているので,実収支は13,834円の黒字となる

付記：この第5回公開講座を含む5回の公開講座実施からなる当研究会の「札幌市とその周辺の地質に関する市民向け公開講座の実施事業」に対して,札幌市の「令和元年度札幌市市民まちづくり活動促進助成金」の交付(助成予定額168,000円)が決定している。事業終了後に助成金交付を得て,最終的な決算を行う予定である。その最終決算を経て収支残金がであるものと期待され,その場合にはその残余金を「役員報償費」などとして各講座の役員提供者に支出する予定である。

無償役員受入評価(受取寄付金区分)

氏名	内容	金額	補足説明
嵯峨山積	講義準備・資料作製,チラシ配布等	28,910	近距離交通費1,355円を含む
前田仁一郎	総括責任,チラシ配布・郵送など	12,110	近距離交通費1,255円を含む
柳下文夫	会場責任,資料印刷作業,チラシ配付等	12,530	近距離交通費1,655円を含む
高波鐵夫	チラシ配布,会場役員	4,575	近距離交通費400円を含む
森藤勉	チラシ配布,会場役員	5,010	近距離交通費835円を含む
宮下純夫	会場責任,チラシ配布等	7,400	近距離交通費1,555円を含む
関根達夫	チラシ配布,会場役員	7,540	近距離交通費1,695円を含む
松田義章	チラシ配布等	1,670	近距離交通費835円を含む
岡村聡	チラシ配布,会場役員	5,845	近距離交通費1,670円を含む
合計	合計	85,590	

付記：第4回以降の公開講座は札幌市の助成金の対象となるので,近距離交通費を計上している

2018年度「総合地質」出版事業決算

事業費区分収益(収入)	内訳	収入(円)	補足説明
頒布	第3巻第1号 × 1部	1,500	
	収入合計	1,500	

事業費区分費用(支出)	内訳	支出(円)	補足説明
編集経費	編集作業業務 6.5 時間	5,428	第2巻第1号(2018年10月25日発行)編集,北海道の最低賃金 835 円/時間で算出
編集経費	編集作業業務 32 時間	26,720	第3巻第1号(2019年9月20日発行)編集,北海道の最低賃金 835 円/時間で算出
印刷・製本経費	作成部数 20	32,400	消費税 8% を含む
	支出合計	64,548	

収支(円)	△ 63,048
-------	----------

付記：支出の内の編集経費 32,148 円相当の業務は無償業務(受取寄付金区分)として受け入れているので,実収支は 30,900 円の支出超過となる

無償業務受入評価益(受取寄付金区分)

無償業務提供者	内容	金額(円)	補足説明
君波和雄	編集業務	23,798	28.5 時間
宮下純夫	編集業務	8,350	10 時間
	合計	32,148	

北海道中川郡中川町開催「平成30年度中川町自然誌講演会」(2018年11月1日開催)実施委託事業 決算

事業費区分収益(収入)	内訳	収入(円)	補足説明
中川町業務委託費		150,580	講演準備と資料作成, 宿泊料, 食費, 交通費, 諸経費(消費税を含む)として
収入合計		150,580	
事業費区分費用(支出)	内訳	支出(円)	補足説明
講演担当者の講演準備と資料作成に要する経費		70,000	講演担当者(岡孝雄・高波鐵夫)2名分
講演担当者の交通費		20,000	同上
講演担当者の宿泊費および食費		34,480	同上
事業実施のための役務		12,150	連絡調整・各種打ち合わせ15時間, 北海道の最低賃金810円/時間で算出
支出合計		136,630	

収支(円)	13,950
-------	--------

付記：支出の内の事業実施のための役務経費12,150円相当の役務は無償役務(受取寄付金区分)として受け入れているので, 実収支は26,100円の収入超過となる

無償役務受入評価益(受取寄付金区分)

無償役務提供者	内容	金額(円)	補足説明
嵯峨山積	事業実施のための役務	8,100	10時間
前田仁一郎	事業実施のための役務	4,050	5時間
合計		12,150	

「人生100年時代のシニア地質屋の集い：NPO法人設立の呼びかけ」開催（2019年9月24日 山口大学にて開催）決算

事業費区分収益（収入）	内訳	収入（円）	補足説明
収入		0	収入項目無し
収入合計		0	
事業費区分費用（支出）	内訳	支出（円）	補足説明
各種役務	チラシ印刷・配布，集会準備・主催等	9,185	11 時間，北海道の最低賃金 835 円/時間で算出
支出合計		9,185	
	収支（円）	△ 9,185	

付記：支出の 9,185 円相当の役務は無償役務（受取寄付金区分）として受け入れているので，実収支は 0 円となる

無償役務受入評価益（受取寄付金区分）

無償役務提供者	内容	金額（円）	補足説明
君波和雄	チラシ印刷・配布，集会準備・主催等	5,010	6 時間
岡村聡	チラシ配布，集会準備・主催	4,175	5 時間
合計		9,185	

2018年度 寄付・無償役務等提供者一覧

寄付金	
川村信人	10,000
前田仁一郎	8,900
松田義章	100
宮下純夫	3,000
中川 充	3,200
岡 孝雄	54,000
嵯峨山 積	10,100
高波鐵夫	10,000
山岸宏光	9,600
計	108,900

管理費区分無償役務	
川村信人	13,360
前田仁一郎	860,050
宮下純夫	23,380
岡村 聡	21,710
嵯峨山 積	338,175
関根達夫	20,040
高波鐵夫	20,040
柳下文夫	23,380
柳下文夫(機器*)	36,216
計	1,356,351

事業費区分無償役務	
君波和雄	28,808
前田仁一郎	46,813
松田義章	2,505
宮下純夫	24,935
森藤 勉	5,010
岡村 聡	31,088
関根達夫	32,038
高波鐵夫	8,750
柳下文夫	24,810
計	204,757

無償役務 計	1,524,892
--------	-----------

無償機器 計	36,216
--------	--------

総計	1,561,108
----	-----------

(単位：円)

* 無償機器等受入内訳：PC・プリンタ類一式, マイク類一式

第4回公開講座「札幌軟石」参加者アンケート結果			
			26枚 (全34名、回収率 76.47%) 2019, 6, 9
年齢は？	10代		
	20代		
	30代		
	40代	4	
	50代	5	
	60代	8	
	70代	8	
	80代	1	
どこで知ったか？	道民カレッジHP	1	
	道民カレッジ冊子	1	
	新聞記事	6	
	当センターのHP	7	
	当センターのチラシ	9	
	区役所		白石、南
	区民センター		南
	図書館		
	その他		職場（高校）で (2) ポスト館 (2)
	知人・友人から	1	
	その他		前回の講座
講座の長さは？	短かった	2	
	少し短かった	4	
	ちょうど良かった	19	
	少し長かった		
	長かった		
室内講座は？	大変わかりやすかった	6	
	わかりやすかった	16	
	ふつうだった	4	
	あまりわからなかった		
	全くわからなかった		
	どちらともいえない		
スライドは？	見やすかった	15	
	少し見やすかった	8	
	少し見づらかった	3	
	見づらかった		
現地見学会は？	大変わかりやすかった	10	
	わかりやすかった	12	
	ふつうだった	3	
	あまりわからなかった		
	全くわからなかった		
	どちらともいえない		
関心があるテーマは？ (複数回答)	地球の起源や進化	2	
	地質変動	12	
	岩石や鉱物	7	
	地球環境	1	
	自然災害	6	
	野外での観察会	20	
	その他		考古学との関連 報道の間違い 千歳、恵庭、河川と地域地質に興味がある。
改善点や感想, 意見			
・有難うございました (5)。			
・多くの疑問が氷解した。			
・声が小さくマイクを使用してもらいたかった。札幌軟石を専門的に知り、面白かった。			
・資料をWebで公開してほしい。400万年、4万年という時間を目の前にして、人生の時間軸が少し変わった。			
・札幌市内のいろいろな地域で講演活動をしてもらいたい。足を運びやすい施設で行えば、これまで関心が無かった人々も触れることが出来る。			
・道東でプレート境界が観察できる所を教えてください (北見在住)。			
・地元に住んでいて、興味深く聴いた。ジオラマもわかりやすかった。			
・シームレス地質図の凡例を示してほしい。			
・室内講座では、もう少し時間をかけ詳しい説明をしてほしかった。			

第5回公開講座「小さな化石(珪藻)」1日目参加者アンケート結果					
			25枚(対象者35名、回収率 71.43%)	2019.7.6	
1. 年齢は?	10代	0			
	20代	0			
	30代	2			
	40代	2			
	50代	1			
	60代	9			
	70代	7			
	80代	4			
2. どこで知ったか?	道民カレッジHP	1			
	道民カレッジ冊子	4			
	新聞記事	5			
	当センターのHP	4			
	当センターのチラシ	4			
	区役所				
	区民センター				
	図書館		新琴似 1		
その他		かでの2・7 1			
	知人・友人から	5			
	その他	2	前回の講座		
3. 講座の長さは?	短かった	2			
	少し短かった	4			
	ちょうど良かった	12			
	少し長かった	2			
	長かった	1			
	不明・無回答	4			
4. わかりやすかったか?	大変わかりやすかった	2			
	わかりやすかった	10			
	ふつうだった	8			
	あまりわからなかった	1			
	全くわからなかった	1			
	どちらともいえない	1			
	無回答	2			
5. スライドは?	見やすかった	12			
	少し見やすかった	3			
	少し見づらかった	6	図面など		
	見づらかった	0			
	無回答	4			
6. 関心があるテーマは? (複数回答)	地球の起源や進化	9			
	地質変動	14			
	岩石や鉱物	6			
	地球環境	9			
	自然災害	8			
	野外での観察会	10			
	その他	1	身近な話題がいい		
7. 改善点や感想, 意見など	・道民カレッジなので説明はもう少し丁寧に.				
	・今回は大変難しかった.				
	・学術的言葉が多かった.				
	・要点や解釈を説明してほしい.				
	・第1回目の講座は不要ではないか.				
	・参考文献が古すぎる.				
	・資料は1ページ2分割の方が見やすい.				
	・子供の話し声で集中できなかった.				
	・顕微鏡で珪藻を観察できればよい.				
	・わかりやすい言葉や切り口で説明を.				
8. 入会について	入会したい	0			
	検討したい	6			
	わからない	13			
	全く考えていない	3			
	無回答	3			
9. その他	・環境考古学, 気候変動, 考古学				

第5回公開講座「小さな化石(珪藻)」2日目参加者アンケート結果					
			17枚(対象者30名、回収率 56.67%)	2019. 7. 13	
1. 年齢は?	10代	0			
	20代	0			
	30代	0			
	40代	2			
	50代	1			
	60代	5			
	70代	6			
	80代	3			
2. どこで知ったか?	道民カレッジHP	2			
	道民カレッジ冊子				
	新聞記事	1			
	当センターのHP	3			
	当センターのチラシ	6			
	区役所				
	区民センター				
	図書館				
	その他		前回の講座 1, 地質学会支部 1, 高校職場 1, かのる2・7 1, エルプラザ? 1.		
	知人・友人から	4			
	その他	1	昨年の講座		
3. 講座の長さは?	短かった	0			
	少し短かった	3			
	ちょうど良かった	11			
	少し長かった	0			
	長かった	0			
	無回答	3			
4. わかりやすかったか?	大変わかりやすかった	4			
	わかりやすかった	8			
	ふつうだった	2			
	あまりわからなかった	1			
	全くわからなかった	0			
	どちらともいえない	0			
	その他	1	途中はわからなかったが、結論は面白かった.		
	無回答	1			
5. スライドは?	見やすかった	7	前でのデジカメ撮影は後ろでお願いしたい.		
	少し見やすかった	1			
	少し見づらかった	9	スライドの映る位置が低いので、見えない部分がある.		
	見づらかった	0			
	無回答	0			
6. 関心があるテーマは? (複数回答)	地球の起源や進化	4			
	地質変動	8			
	岩石や鉱物	4			
	地球環境	3			
	自然災害	4			
	野外での観察会	5			
	その他	2	日本人の起源と縄文文化、アイヌとの関係. 札幌周辺や石狩・後志の地形と地質の関係. 地球科学全般と人間の関係.		
7. 改善点や感想, 意見など	もう少し具体的なものであれば分かりやすかった.				
	今回は声が聞こえて良かった.				
	専門用語が多い.				
	資料の出典先を詳しく書いてもらいたい.				
	専門用語の理解に誤りが多い(特に年代).				
	紅葉山砂丘の北東側の説明がなかった. 新琴似はSNK, SKN?				
8. 入会について	入会したい	0			
	検討したい	4			
	わからない	4			
	全く考えていない	3			
	無回答	6			
9. その他	珪藻化石と地層の関係をもう少し知りたかった.				
	データに基づいた話で、面白かった.				
	塩分指数と塩分濃度が1:1でないのではという意見に同感.				
	石狩平野について、もう少し時間をかけて聞きたかった(概論部分が多すぎる).				
					注) 全て未記入のアンケート用紙1枚あり

第6回公開講座その1 (2019/10/12) 参加者アンケート結果 (16枚/参加者20名, 回収率 80%)

		数・まとめ
1. 年齢は?	10代	0
	20代	0
	30代	0
	40代	1
	50代	2
	60代	5
	70代	6
	80代以上	2
	無回答	0
2. どこで知ったか?	道民カレッジHP	1
	道民カレッジ冊子	3
	新聞記事	4
	当センターのHP	3
	当センターのチラシ	4
	区役所	2
	区民センター	0
	図書館	0
	その他	0
	知人・友人から	0
無回答	1	
文字記入欄	南区役所 *2, 職場 (高校: チラシ直送), mail magazine, 前回の講座	
3. 講座の長さ	短かった	1
	少し短かった	2
	ちょうど良かった	12
	少し長かった	0
	長かった	0
	無回答	1
4. わかりやすかったか?	大変わかりやすかった	4
	わかりやすかった	8
	ふつうだった	3
	あまりわからなかった	0
	全くわからなかった	0
	どちらともいえない	1
	その他	0
無回答	0	
5. スライドは?	見やすかった	11
	少し見やすかった	3
	少し見づらかった	2
	見づらかった	0
	無回答	0
6. 関心があるテーマは? (複数回答)	地球の起源や進化	7
	日本列島や北海道島の地質変動	13
	岩石や鉱物	7
	地球環境	9
	自然災害	13
	野外での地層・岩石・化石・地形の観察会	8
	その他	1
文字記入欄	●昭和大洪水で石狩川, 豊平川の大雨によって死者, 負傷者, 家屋全半壊, 床上浸水, 床下浸水, 田畑冠水, 河川被害, 道路被害が過去最大の被害があったのを自分も菊水に住んでいたので大変おそろしかったことを思い出しました。川があふれて堤防を越えてくるのではと思います, 兄弟妹でふるえていたことを思い出しました。●近現代史 (含先住民), 地球に関して, その他	
7. 改善すべき点, ご感想, ご意見	文字記入欄	●特にありません。これからも継続して公開講座を開いてくださるようお願いいたします。●興味深い内容でした。有り難うございました。1981年の洪水を思い出し申込みさせていただきました。●大変勉強になりました。観察会でも引き続きお世話になりますが, よろしく願います。●回数を増やして欲しいです。●豊平川に関心があり, いい話を聞けました。有り難うございました。
8. 入会について	入会したい	0
	検討したい	5
	わからない	8
	全く考えていない	1
	無回答	2
文字記入欄	●門外漢なので専門家の中に入ってよいかどうか?●基礎知識をつける為の本の紹介などがあると良いと思いました。●入会しても情報受けられないので	
9. その他	文字記入欄	●洪水の予報について自分なりに勉強してみたいと思いました●素人ですがわかりやすく話していただきました。また来ます。野外観察も行きますのでよろしく願います。